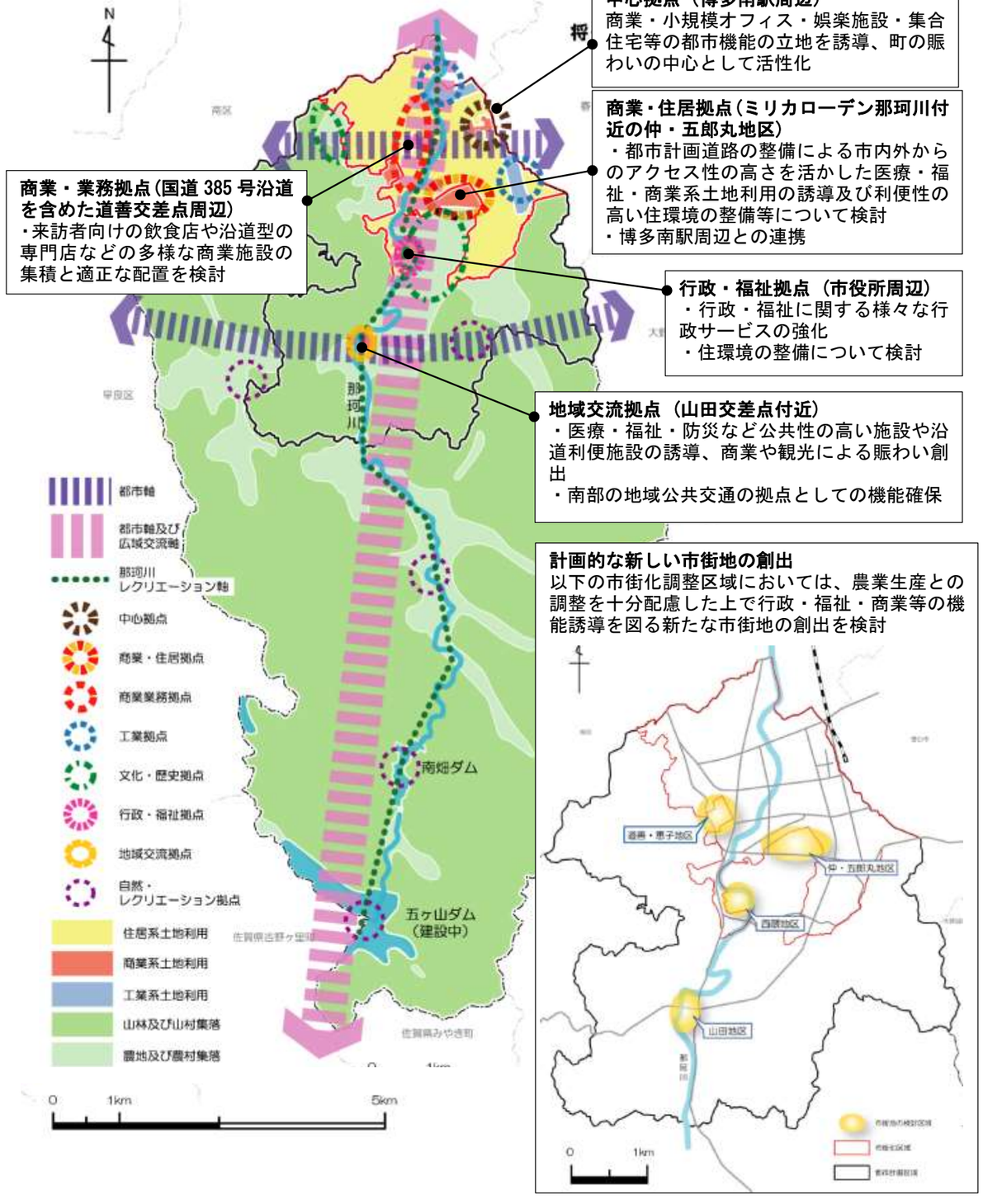
将来都市構造の検討
■上位関連計画における都市構造

資料3

那珂川市都市計画マスタープラン　将来都市構造図※主な拠点の方向性を要約し記載



中心拠点（博多南駅周辺）
商業・小規模オフィス・娯楽施設・集合住宅等の都市機能の立地を誘導、町の賑わいの中心として活性化

商業・住居拠点（ミリカローデン那珂川付近の仲・五郎丸地区）
・都市計画道路の整備による市内外からのアクセス性の高さを活かした医療・福祉・商業系土地利用の誘導及び利便性の高い住環境の整備等について検討
・博多南駅周辺との連携

商業・業務拠点（国道 385 号沿道を含めた道善交差点周辺）
・来訪者向けの飲食店や沿道型の専門店などの多様な商業施設の集積と適正な配置を検討

行政・福祉拠点（市役所周辺）
・行政・福祉に関する様々な行政サービスの強化
・住環境の整備について検討

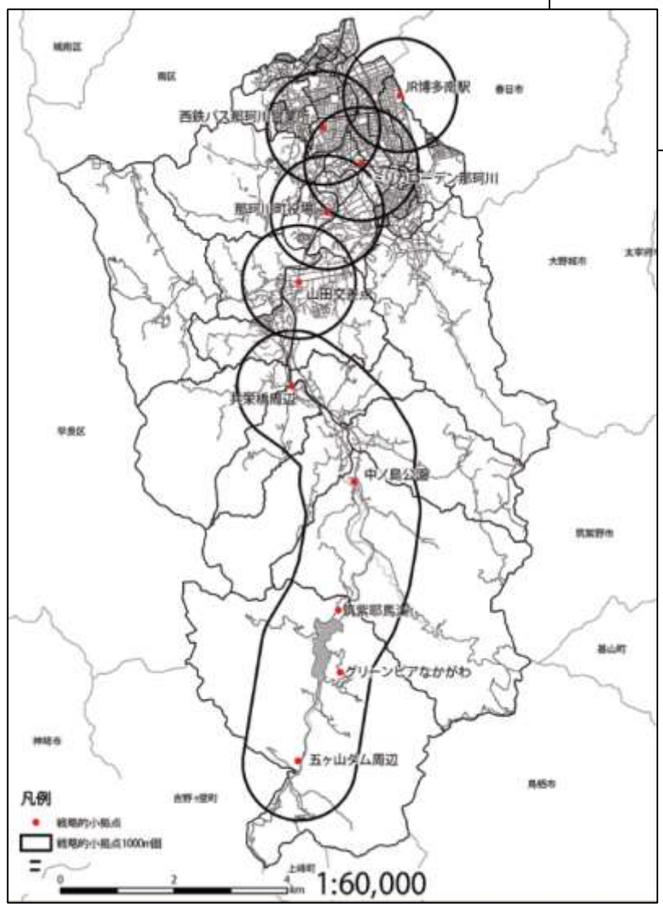
地域交流拠点（山田交差点付近）
・医療・福祉・防災など公共性の高い施設や沿道利便施設の誘導、商業や観光による賑わい創出
・南部の地域公共交通の拠点としての機能確保

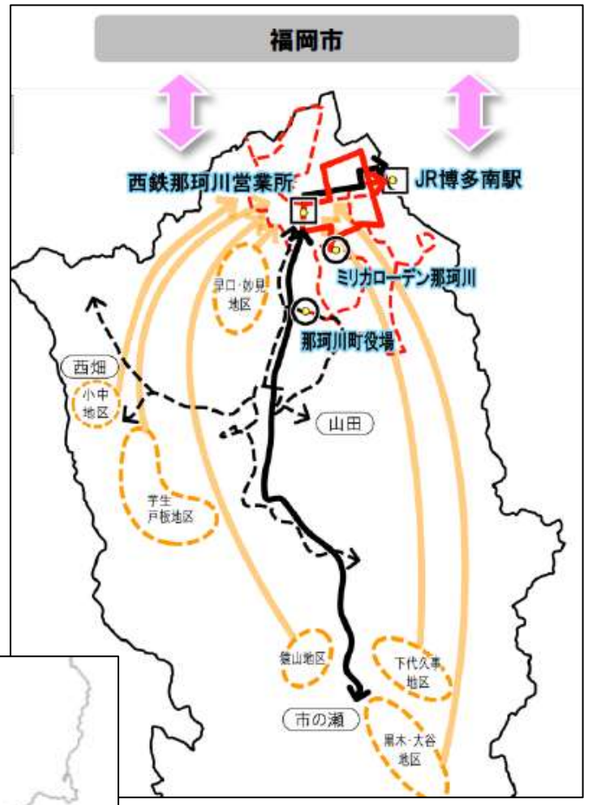
計画的な新しい市街地の創出
以下の市街化調整区域においては、農業生産との調整を十分配慮した上で行政・福祉・商業等の機能誘導を図る新たな市街地の創出を検討

那珂川市地域公共交通網形成計画 ▶

地域公共交通のあるべき姿
＜主要な交通結節点＞（博多南駅、営業所）
・那珂川市と福岡市を連絡する地域間公共交通と那珂川市地域公共交通、または地域公共交通同士が接続して乗継ができると同時に、周辺にはスーパーマーケットや病院といった日常生活の移動目的地となる施設が集積する拠点
＜乗継拠点＞（ミリカローデン、市役所）
・主に地域公共交通同士が接続して乗継ができる拠点

凡例		
主幹線交通	⟷	①主要施設循環バスルート
	⟷	②通勤かわせみ・南畑線
	⟷	③北西部・北東部循環バスルート
支線交通	⟷	④支線バス（路線定期型）
	⟷	⑤デマンド交通（区域通行型）
	□	主要交通結節点
	○	乗継拠点





◀那珂川市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略

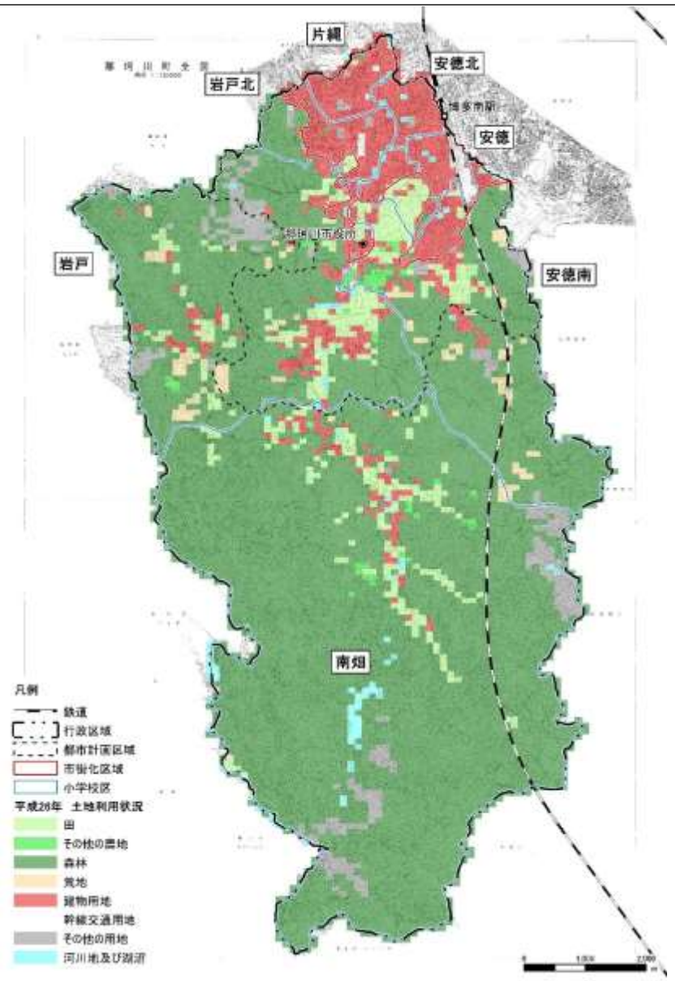
基本的視点
１地域住民が豊かさを実感できる生活環境の魅力の向上を図る
２定住人口の安定に寄与する住みたくなるまちづくりを図る
３人口減少・超高齢化社会の到来を前提とした地域づくりを図る
４産業振興に関わる地域の公益サービスの拡大を図る
５基本的視点１～４を実現するための複数の**戦略的小拠点の形成**を図る
①JR 博多南駅及び周辺
②道善交差点周辺
③ミリカローデン那珂川及び周辺
④那珂川町役場及び周辺、
⑤山田交差点周辺
⑥国道 385 号南部

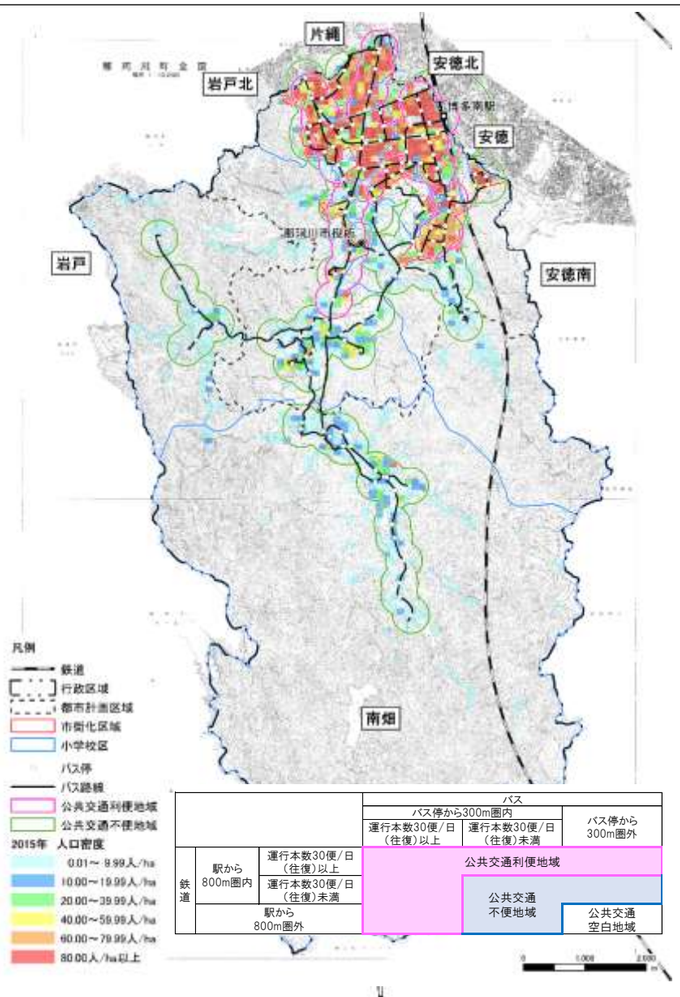
■現況データからみる都市構造

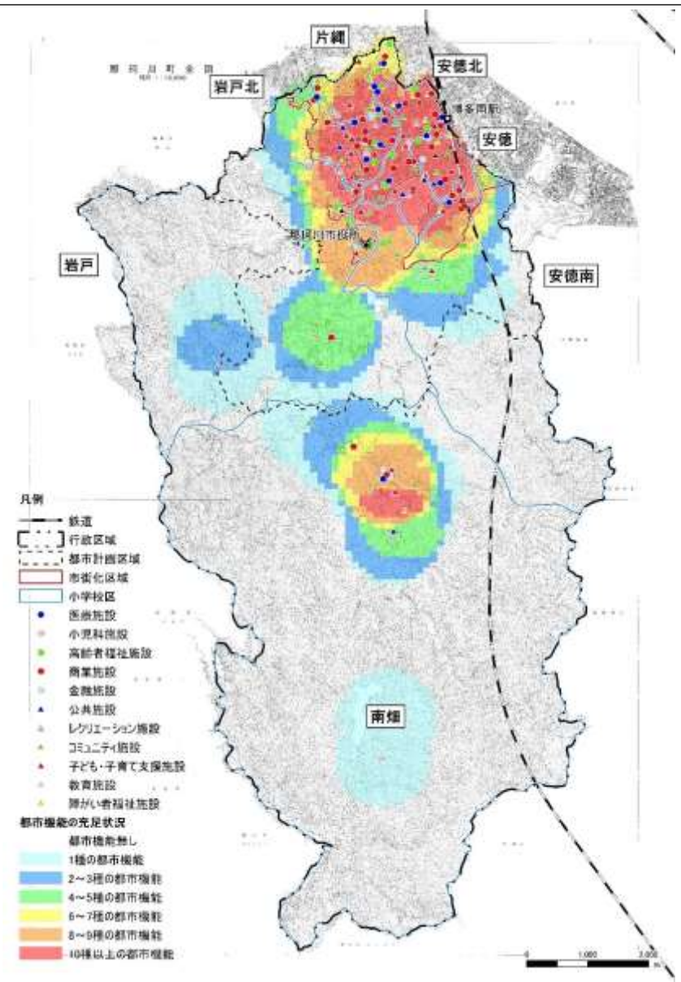
土地利用の状況▼
- 本市の土地利用の約８割が田畑・山林等の自然的土地利用
- 建物用地は北部の市街化区域内にほぼ集中しており、北部が市街地、南部が自然環境と北と南で大きく土地利用が異なることが特徴

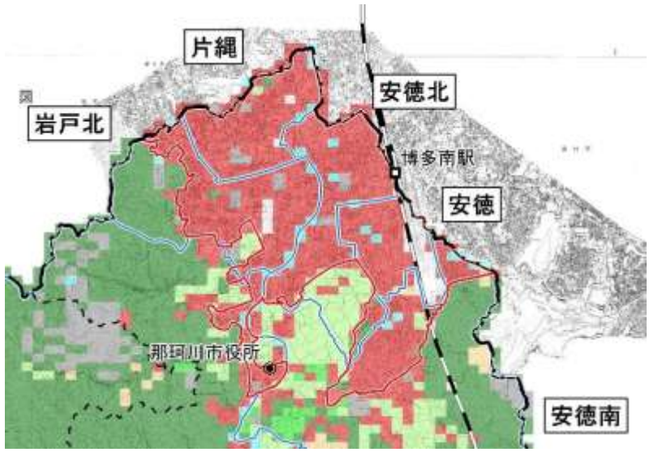
人口分布及び公共交通の状況▼
- 市街化区域内に人口が集積しており、JR 博多南線、西鉄バス、かわせみバスにより市街化区域内の公共交通利便性（運行本数）は比較的高い
- 南部の集落等においては、公共交通はあるものの運行本数の少ない地域や公共交通空白地域がみられる

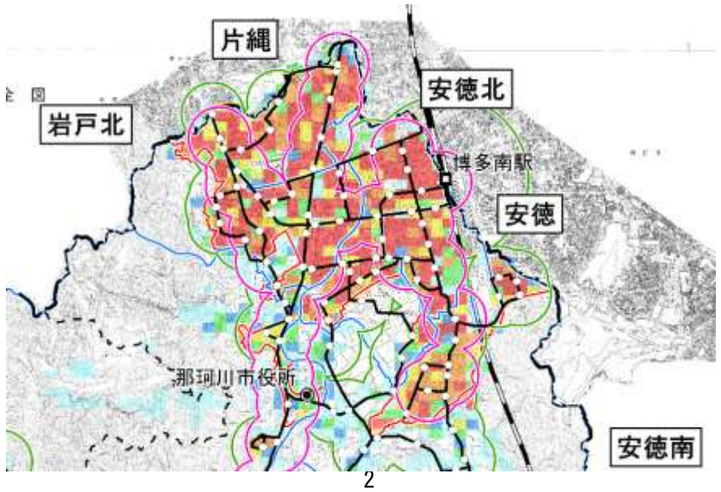
都市機能の集積状況▼
- 医療・商業・福祉等の都市機能は、駅周辺や国道沿道を中心に集積し、市街化区域のほぼ全域で徒歩圏に 10 種以上の都市機能が分布している
- 市街化区域外では、山田地区や南畑小周辺に都市機能の集積がみられ、南部の拠点となっていることが分かる

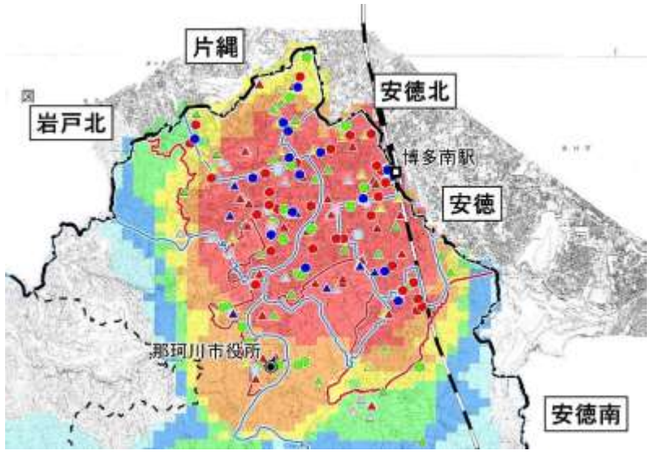








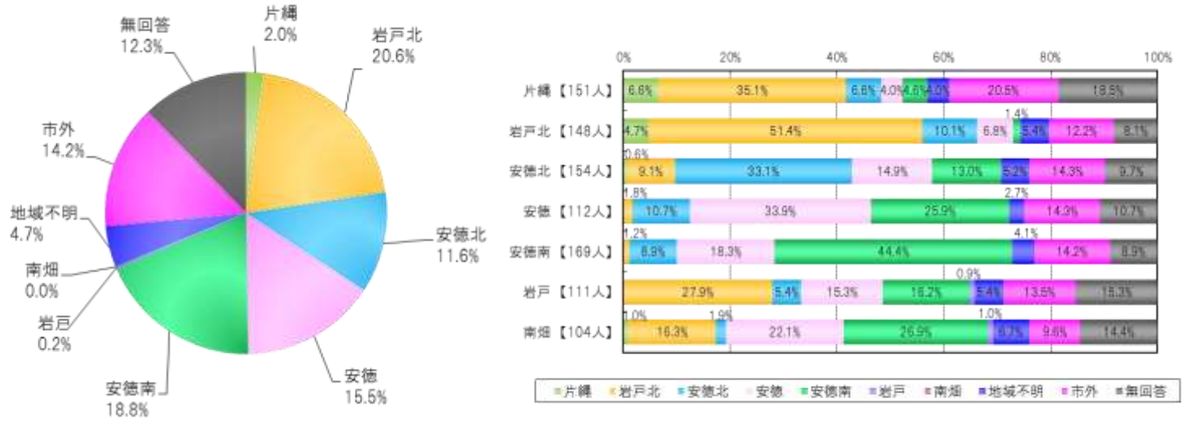




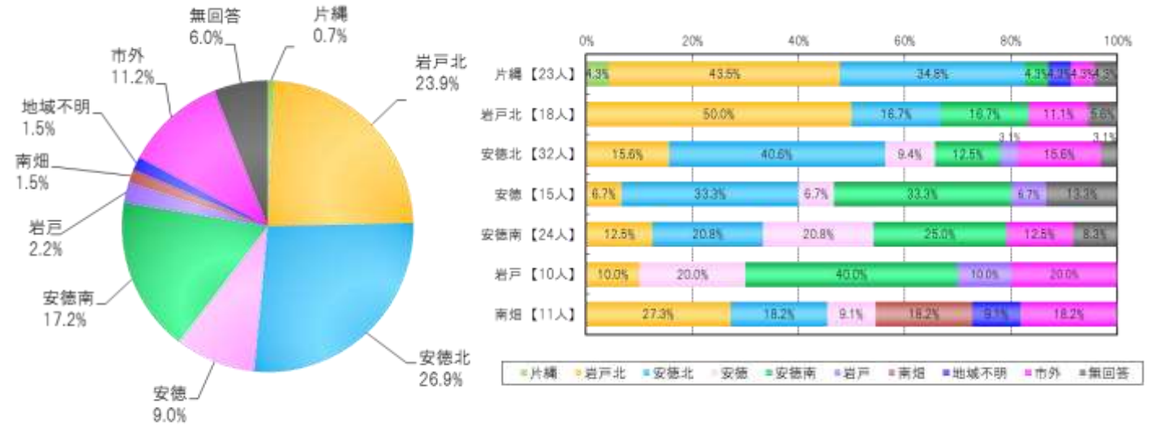
■市民アンケートによる都市機能の利用状況

都市構造に係るアンケート結果の総括（アンケートからわかる状況⇒都市構造検討の考え方）
- 施設が集積する北部市街地における各施設の利用が多くみられる⇒北部市街地の拠点性維持や南部からのネットワーク確保
- 保育所・幼稚園等は居住地域内や近隣地の利用が多い⇒各地域の身近な場所における施設の維持（拠点形成）
- 市外施設の利用割合の多い買回り品や医療施設はアクセス満足度も低い⇒市内への施設誘導（拠点形成）や市外とのネットワーク連携

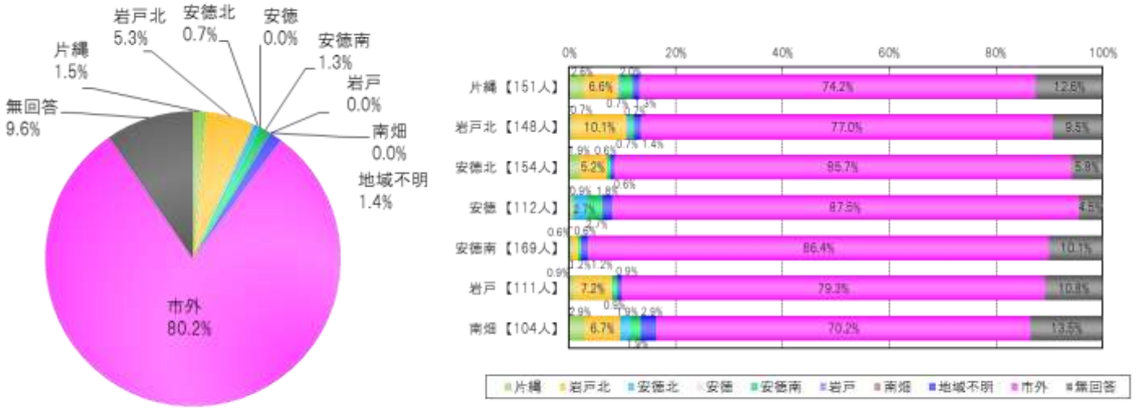
商業施設（食料品等）の利用状況▼
・概ね居住地内の店舗を利用する割合が高いが、片縄・岩戸・南畑地域は近隣地域や北部市街地を利用している



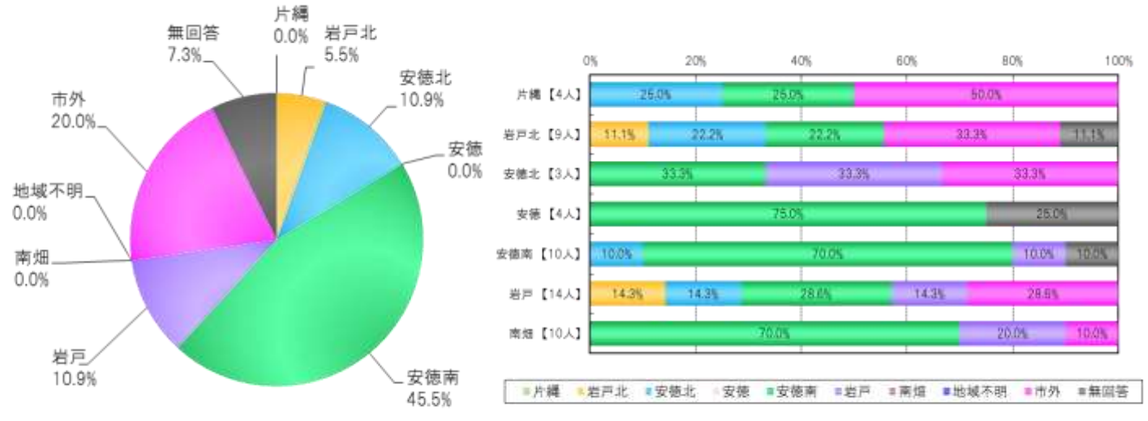
保育所・幼稚園等の利用状況▼
・居住地域内や近隣地の利用が大多数



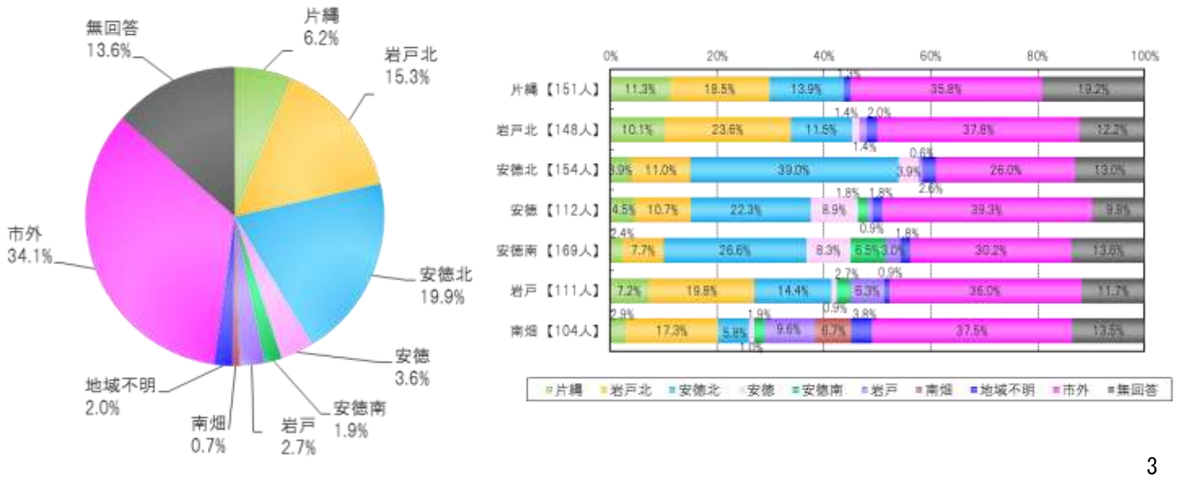
商業施設（買い回り品）の利用状況▼
・各地域とも市外の店舗を利用する割合がかなり高い



通所型福祉施設（高齢者福祉施設、障がい者福祉施設）の利用状況▼
・市内施設の利用が多く特に安徳南地域の施設利用が多い

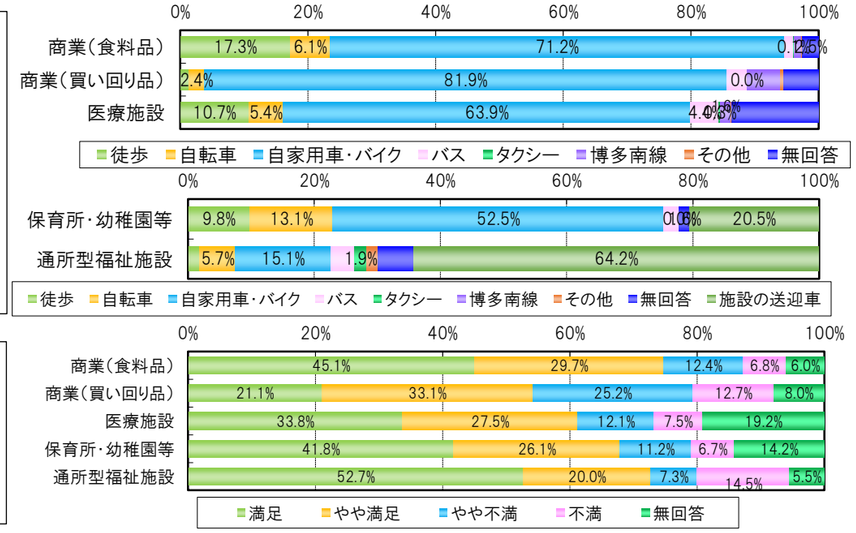


医療施設）の利用状況▼
・各地域とも市内の岩戸北・安徳北地域の施設の利用が多い。市外の施設利用者も 3 割程度占める



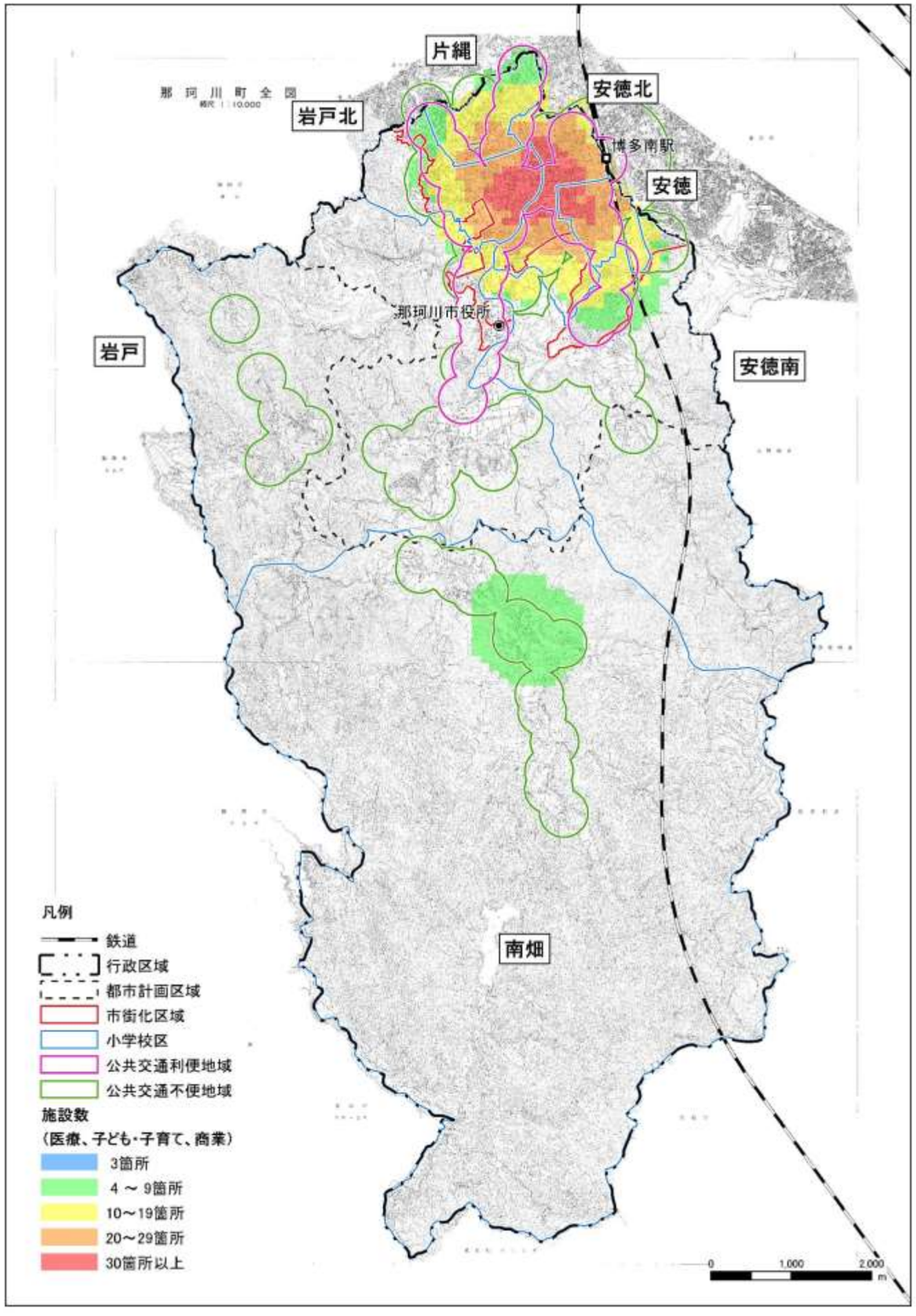
各施設への主な移動手段▶
- 自家用車・バイクでの移動が多い
- 食料品等の商業施設では徒歩での移動も 2 割弱みられる
- 保育所等や通所型福祉施設では施設の送迎車の割合も高く特に通所型福祉施設は 6 割以上占める

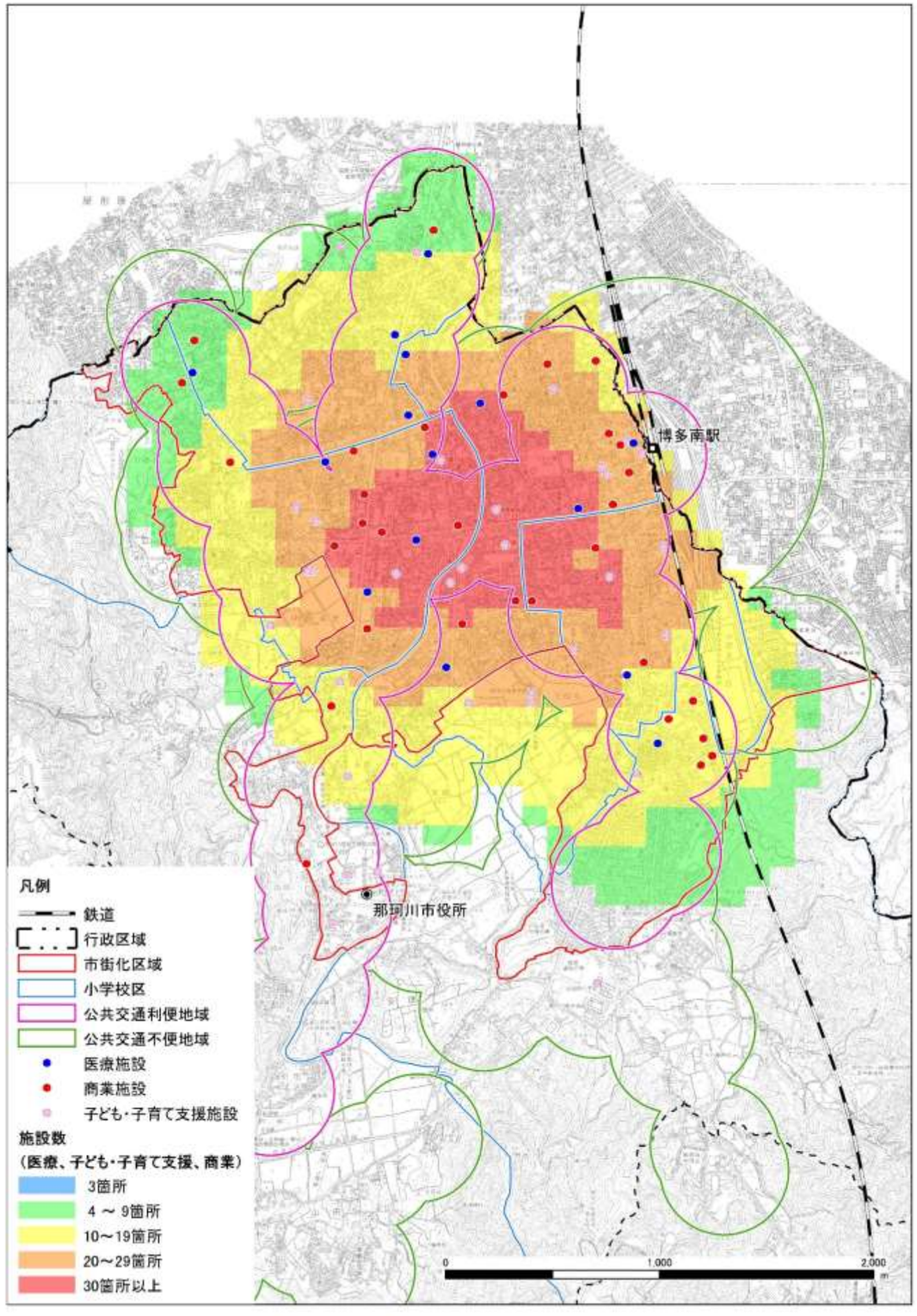
アクセスの利便性▶
- アクセス利便性の満足度は概ね 6 割以上と高い傾向だが、商業施設（買い回り品）のみ不満傾向が 3 割を超える



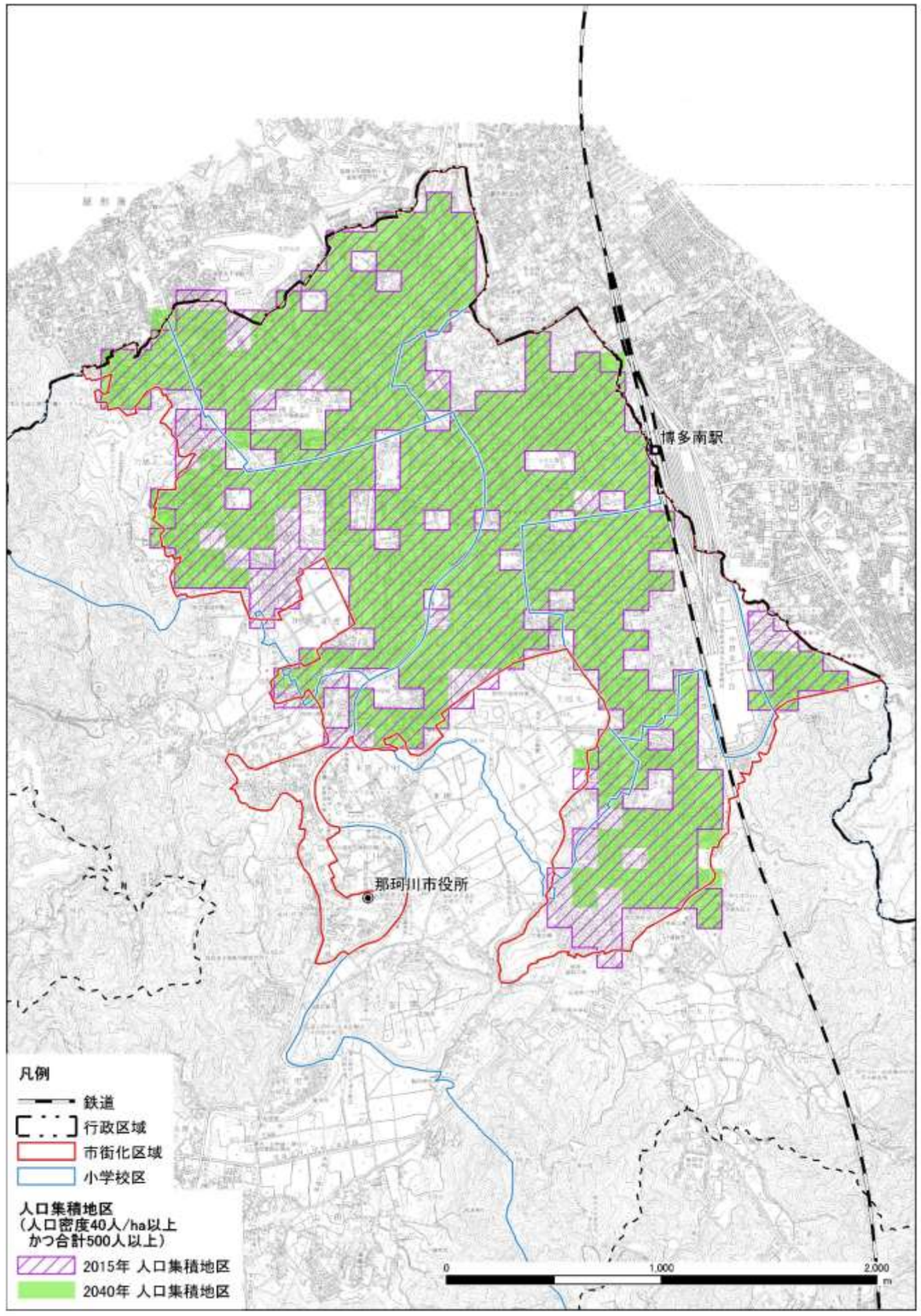
参考資料

・都市機能の集積状況（医療※1・福祉・子ども子育て支援施設※2全ての施設が徒歩圏内にある地域）　※１　内科または外科を有する医療施設　※２　保育所・幼稚園等

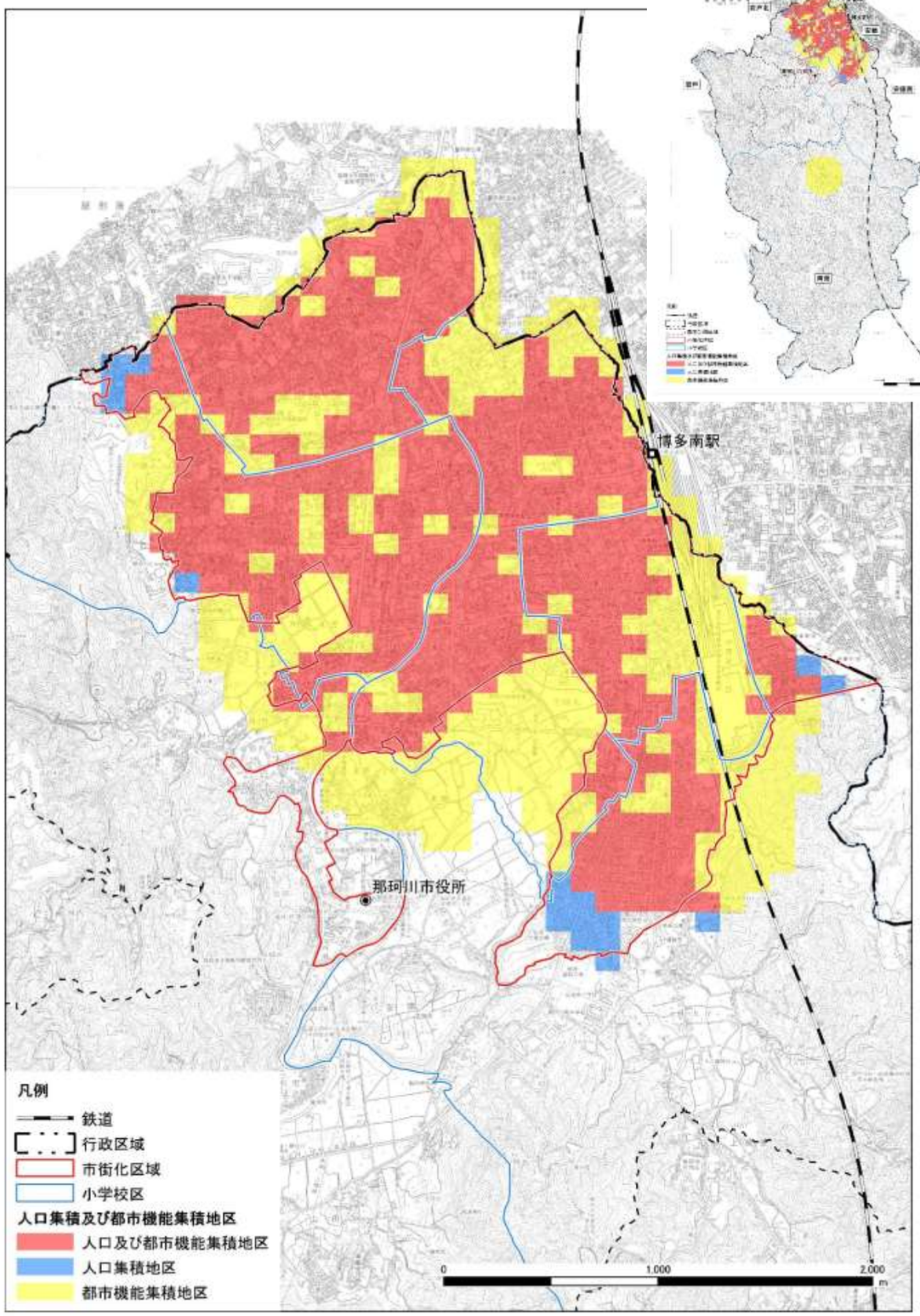




・人口集積地区（人口密度が高くまとまって分布している地域）

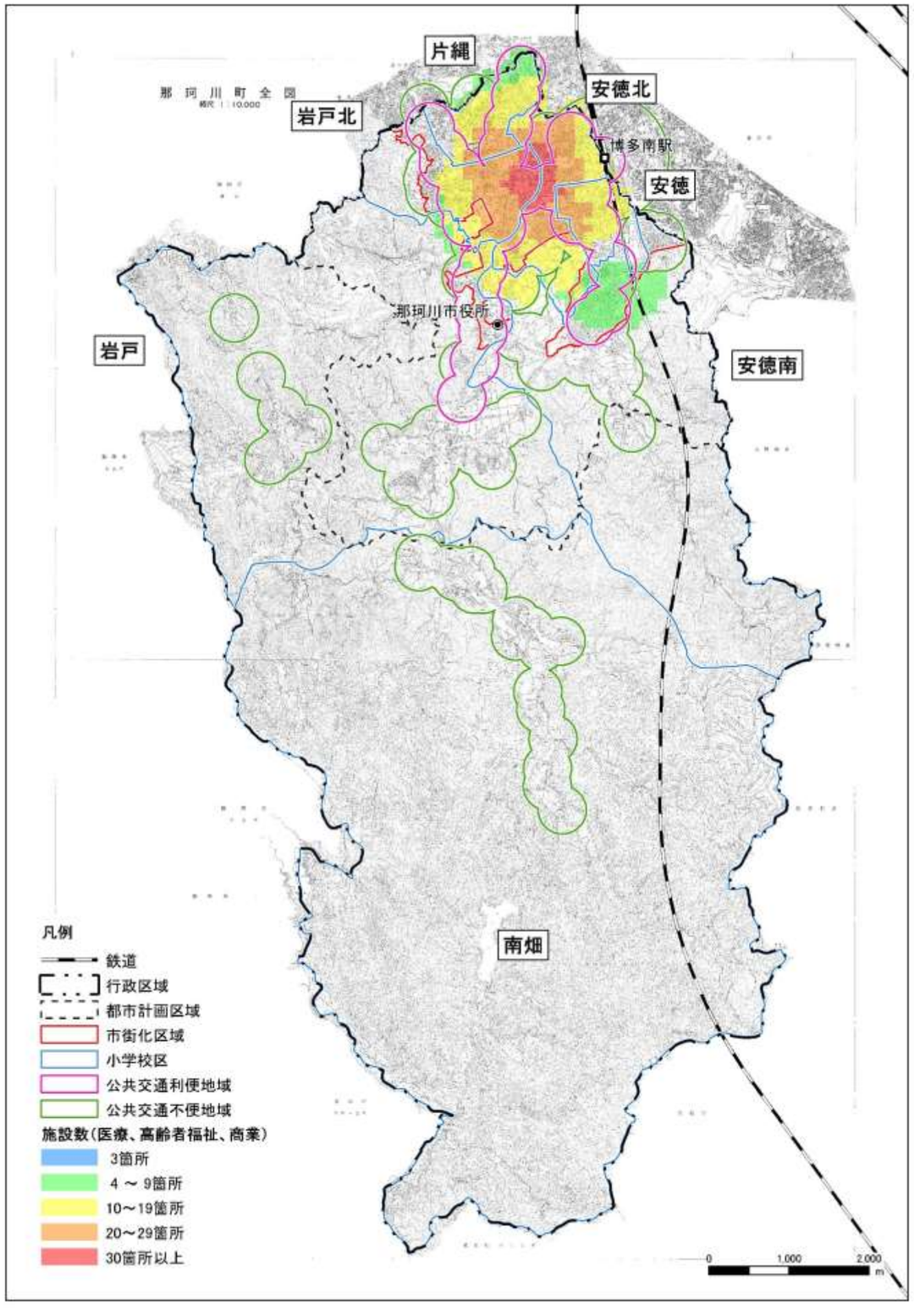


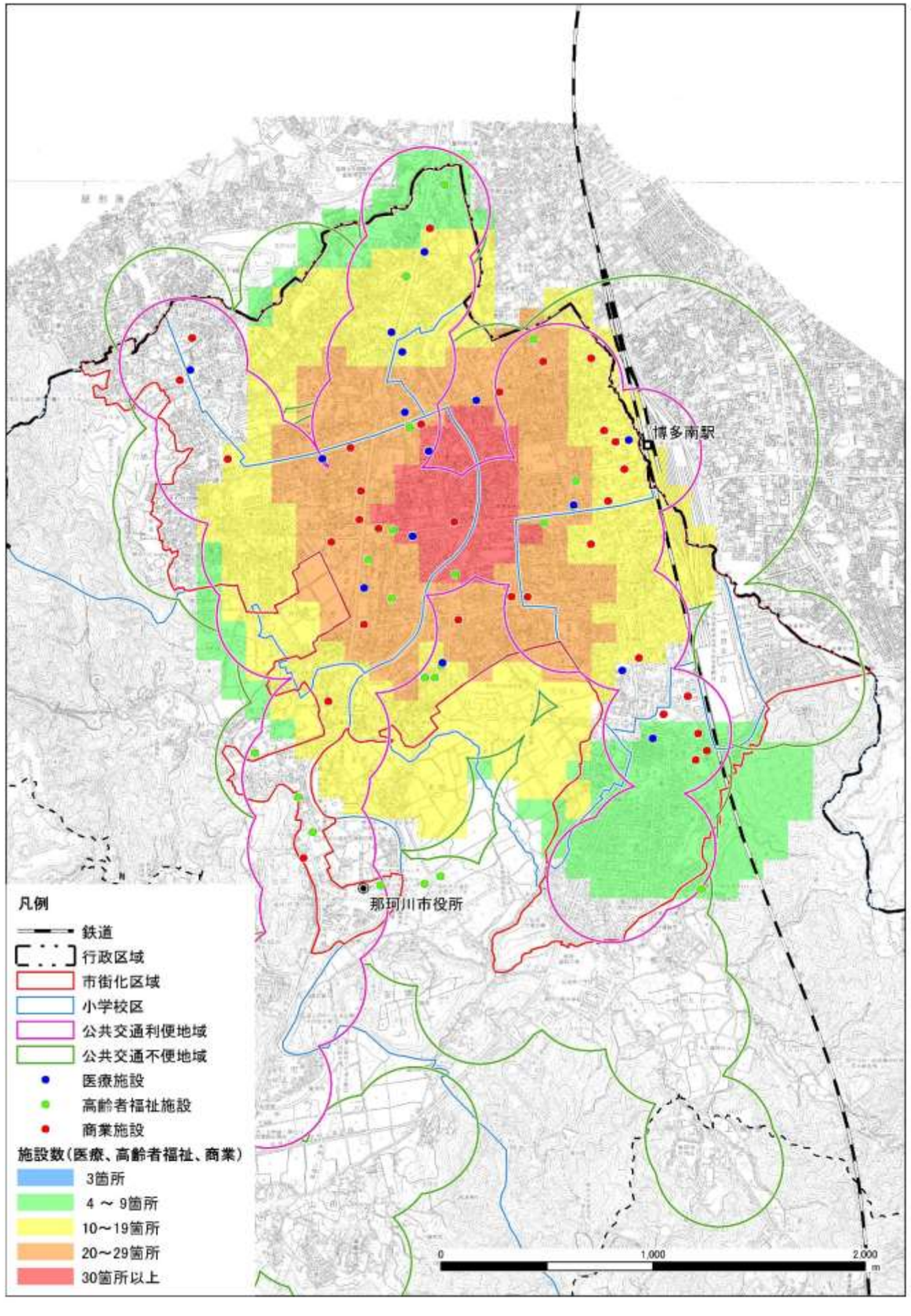
・人口及び都市機能（医療・福祉・子ども子育て支援施設）の集積地区



参考資料

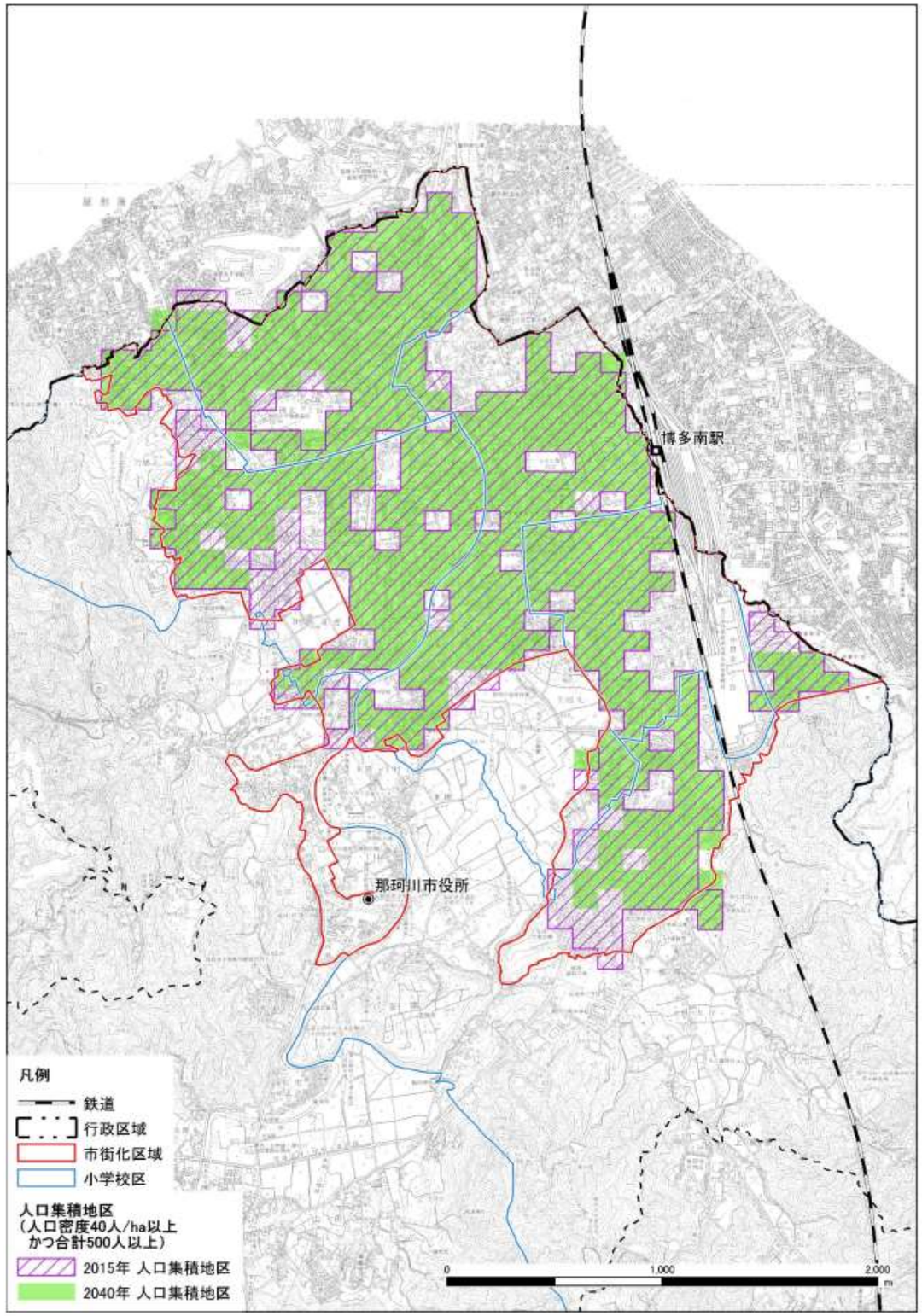
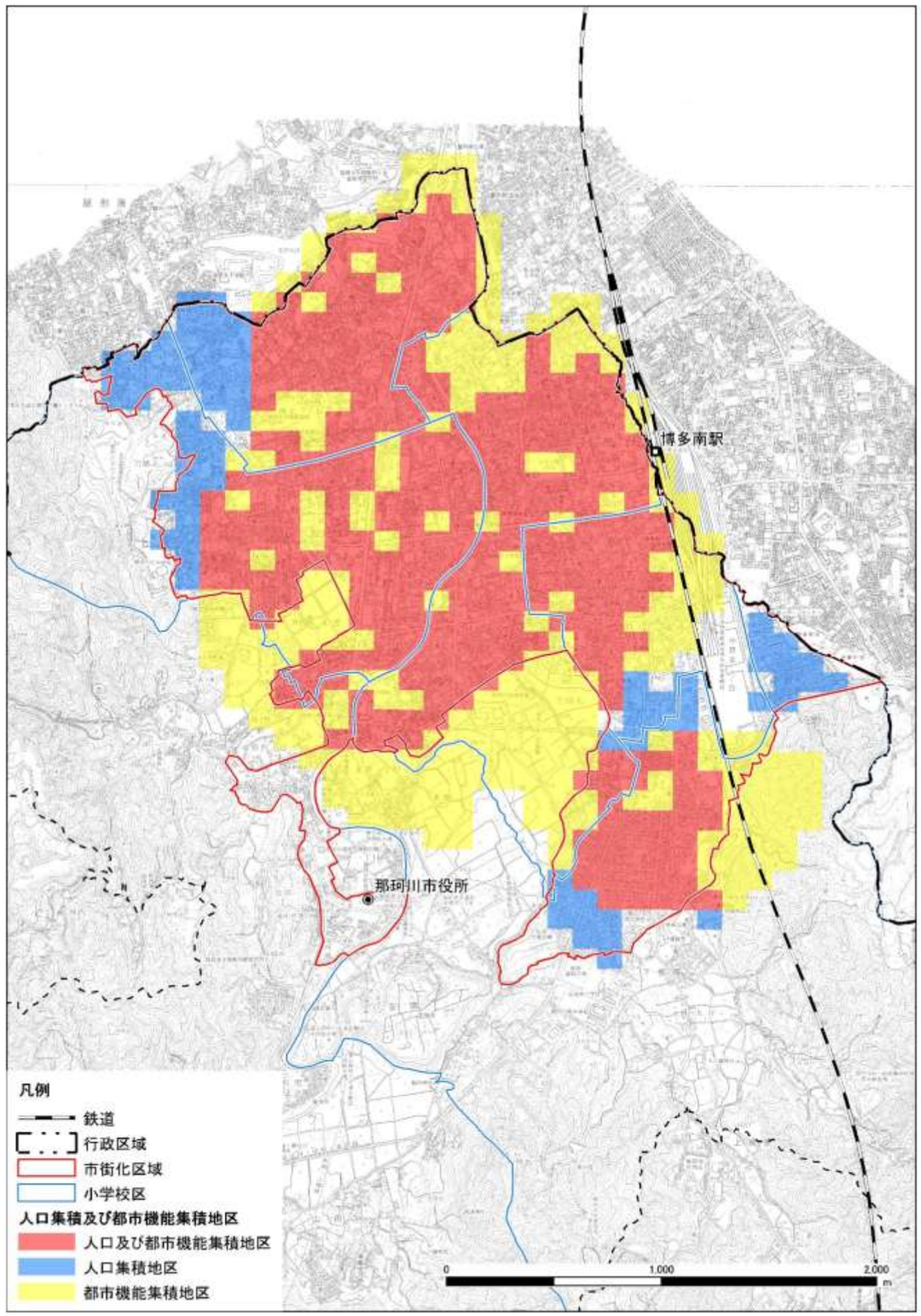
・都市機能の集積状況（医療・福祉・商業全ての施設が徒歩圏内にある地域）





b

・人口集積地区（人口密度が高くまとまって分布している地域）



・人口及び都市機能の集積地区